

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【公表番号】特表2010-535331(P2010-535331A)
 【公表日】平成22年11月18日(2010.11.18)
 【年通号数】公開・登録公報2010-046
 【出願番号】特願2010-518678(P2010-518678)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 21/78 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/78 C

【手続補正書】
 【提出日】平成23年7月21日(2011.7.21)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0082
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0082】

良好な応答時間を得るためには、蛍光を消光するために酸素が移動しなければならない拡散路ができるだけ短くなるように、フィルムが可能な限り薄いと有利である。ポリマーを通過する酸素の拡散速度は、センサー要素の応答時間に影響を有する第2の因子である。拡散速度はできるだけ速いべきであり、材料に特有である。T o p a s グレードの場合、酸素拡散速度は約250 (T o p a s 5013X14、T g = 136℃の場合) または280 (T o p a s 6013F-04の場合) $\text{cm}^3 \times 100 \mu\text{m} (\text{m}^2 \times \text{日} \times \text{bar})$ である。